

2026年(令和8年)2月オホーツク管内倒産集計

令和8年3月4日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

2月の発生ゼロは4年ぶり

昨年9月から6か月連続で発生なし

| | | | |
|--------|------|-----------------|-----------|
| ■前月比 | 件数 | 同数(令和8年 1月) | 0 件) |
| | 負債総額 | 同額(") | 0 円) |
| <hr/> | | | |
| ■前年同月比 | 件数 | 2件減少(令和7年 2月) | 2 件) |
| | 負債総額 | 15,025万円減少(") | 15,025万円) |

2026年(令和8年)2月の発生状況

2026年2月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生ゼロに終わり、昨年9月以来6か月連続で倒産発生が見られていない。6か月連続で倒産がないのは、集計を取りはじめた1966年1月以来初めて。

昨年2月は北見市内で2件の倒産発生(クリーニング業者・飲食業者)があるなど年明け以降不穏な空気が続いていたが、今年は小康状態を保っている様相だ。

過去5か年における2月の倒産発生は21年2件、22年0件、23年1件、24年1件、25年2件で平均発生件数は1.2件。同負債総額は9,241万円。

過去5年間と今年1～2月の発生推移

過去5年間の1～2月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は1.6件。同負債総額は2億269万円となっている。

これまでの推移において2月は比較的倒産発生が目立っていたが、今年は4年ぶりに発生がゼロとなった。

過去5年間と今年1～2月の件数・負債額

| 年 別 | 件 数 | 負 債 額 |
|-------|-----|----------|
| 2021年 | 2件 | 7,000万円 |
| 2022年 | 0件 | 0円 |
| 2023年 | 1件 | 7,000万円 |
| 2024年 | 2件 | 22,322万円 |
| 2025年 | 3件 | 65,025万円 |
| 2026年 | 0件 | 0円 |

今後の見通しと問題点

昨年はエネルギー価格をはじめとする各種物価高騰・高止まりや深刻な人手不足などの経営課題に加え、景気の先行き不安感や金利上昇の影響が着実に忍び寄り、各企業の収益圧迫や個人の消費マインド低下にも拍車をかけ暗い影を落とした。今年は早々に衆議院の解散総選挙へと突入したことで各市場に混乱や停滞も生じたが、新政権が発足し、経済活性化や物価の安定さらには国民の実質所得増加へとつながる政策実現への期待が高まり、消費マインド回復ひいては中小事業者の経営安定化への発展を期待したいところだ。

ここオホーツク管内は小康状態を保っており、昨年9月以降は6か月連続で倒産発生が見られないなど改善の兆しも窺える。ただ、中小・小規模事業者を取り巻く環境は今なお厳しく、自治体の財政問題など直面する課題も山積しまだまだ先行き不透明感が拭えない状況にある。新政権が打ち出す各種政策の効果もまだ未知数であり、各事業者においては売上回復への施策や人材確保に向けた取り組みに注力するほか、事業の再構築など新たな展開も視野に入れる必要があるのではないだろうか。

